

# 京都アイディアベーカリー

Kyoto Idea Bakery

## -市民交流による集合知の醸成-

風間ゼミナール アイディアベーカリー班

北村航基 井上晋太郎 瀬川幸加 佐々木菜那 土本一花 松本理世

2025年12月14日

# 集合知

多様な視点が交わることで、  
単独の判断を超える知が生まれる過程



米・ジャーナリストJames Surowiecki





## 公共交通機関の利用者を増やすための 地下鉄便利マップ「ドアちかマップ」

地下鉄の利便性  
を高めるべき

どの車両に乗れば乗り換え  
時間短縮できる??

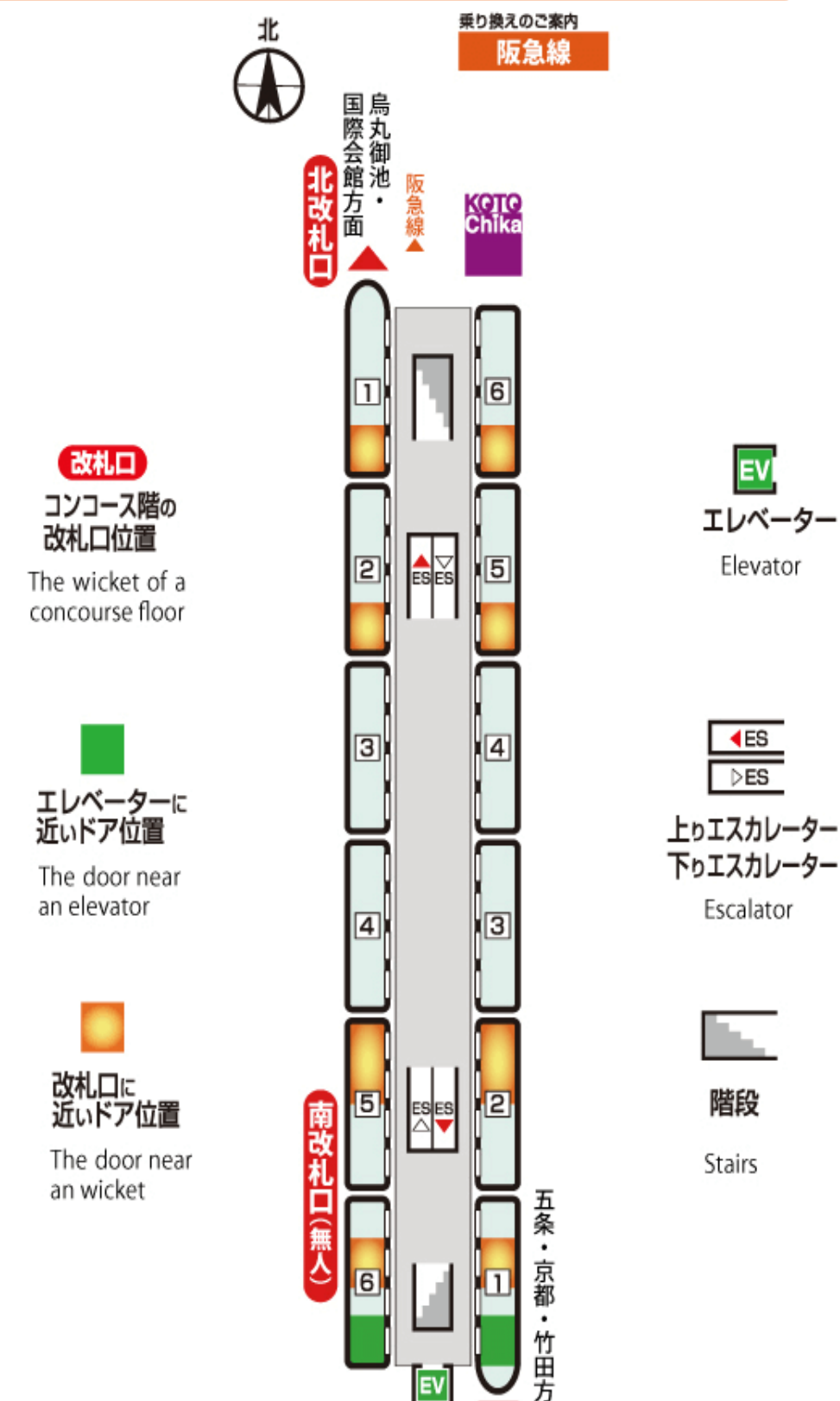
乗り換えに便利な情報を  
まとめたマップほしい!

### 議論開始

乗り換えをもっと  
スムーズにしたい

各駅のエレベーターや  
改札口に近いドアを  
知りたい

「ドアちかマップ」の設置  
市民の議論が実際の交通改善につながった



- 01 問題意識
- 02 現状分析
- 03 政策提言
- 04 効果と展望



# 01 | 問題意識

# 集合知の重要性

対話で生まれた  
多様な発想



政策を検討する際の  
視野が広がる



より現実に対応した  
政策へと改善



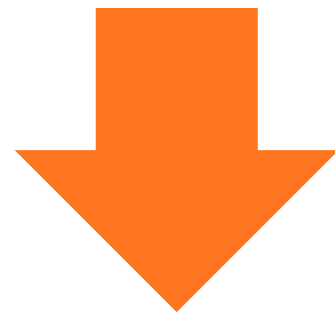
問題意識

現状分析

政策提言

効果と評価

集合知は政策の「質」を  
高める大事な要素



集合知が生まれ活きる  
市政参加制度が重要





# 京都市の市政参加制度

パブリックコメント



まちづくり・お宝バンク



市長への手紙



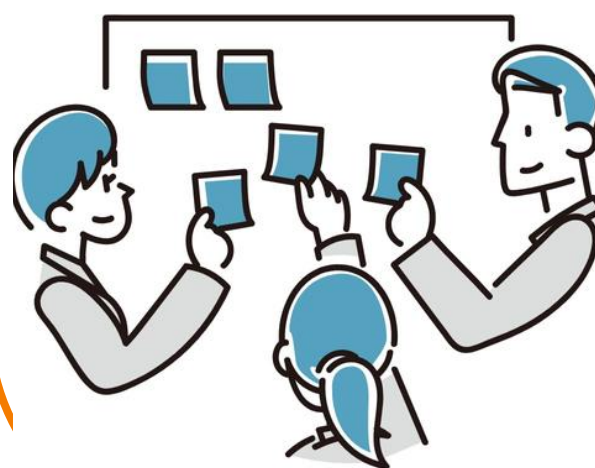
まちづくりインターン



出前トーク



審議会



市民対話会議



## 既存制度の集合知形成の限界

### 京都市政参加制度

市民の声を  
吸い上げる制度  
ex.パブリック  
コメント

市政について  
議論する制度  
ex.審議会

まちづくりに  
参加できる制度  
ex.まちづくり  
インターン

市民の意見が  
流れない

関心のある  
人だけが参加  
できる

参加できる  
人だけが参加  
できる

## 既存制度の集合知形成の限界

京都市政参加制度

**既存の市政参加制度では  
集合知を生み出す構造になっていない！**

市民の意見が流れ

関係者の設定

集合知の形成



# 02 | 現狀分析

## 京都市未来まちづくり100人委員会

市民主体で政策のテーマ設定から実施まで行う  
まちづくりにかかわる取り組み

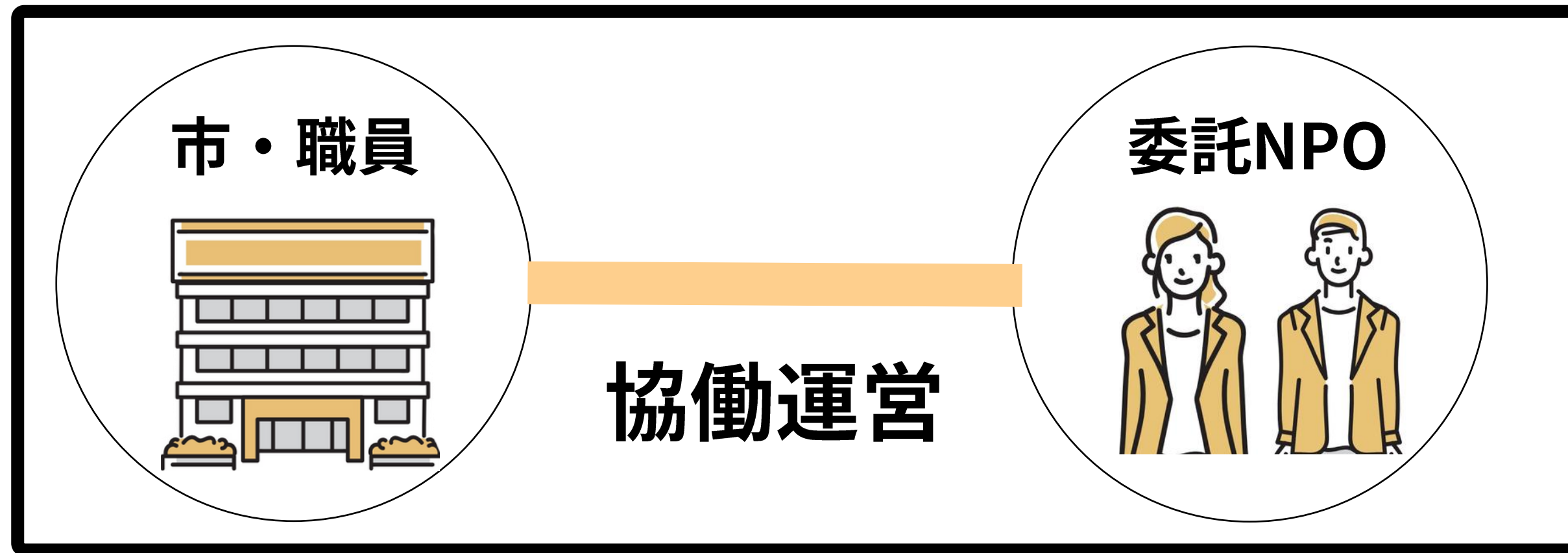


2008年9月にスタート

公募と行政・NPOの推薦によって  
集まった100人程度の人々が参加  
1~5期までの約7年間行われた

## ヒアリング調査

📍 京都市文化市民局地域自治推進室  
🕒 2025 11/13



NPOの  
重要性



市民参加係長  
福本純一 氏

NPOは企業よりも市民に近く、  
行政だけでは作りにくい柔らかい雰囲気や  
対等な関係性を形にできる

問題意識

現状分析

政策提言

まとめ



## 100人委員会の課題点

### 1. 参加のハードルの高さ

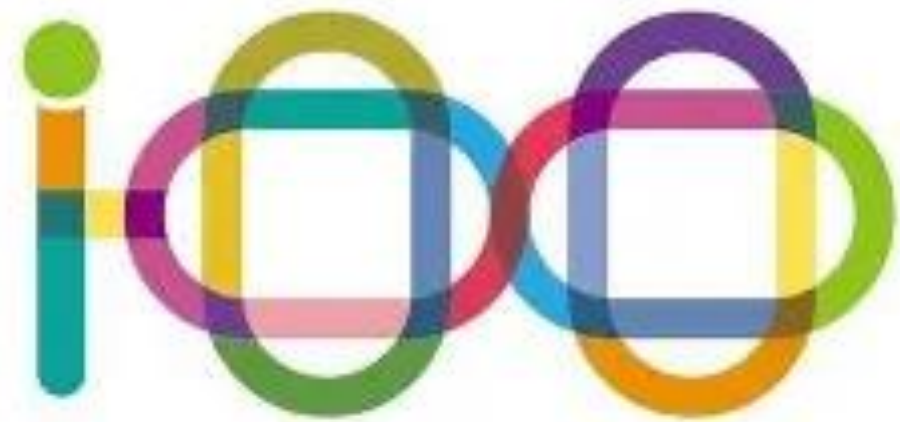
長期の任期かつ継続義務、議論から実施まで市民が担う仕組みが負担となり、参加と継続が困難に

### 2. コストの高さ

継続には行政コストがかかり、長期的に制度として維持することが難しい



2015年に終了



京都市未来まちづくり  
100人委員会




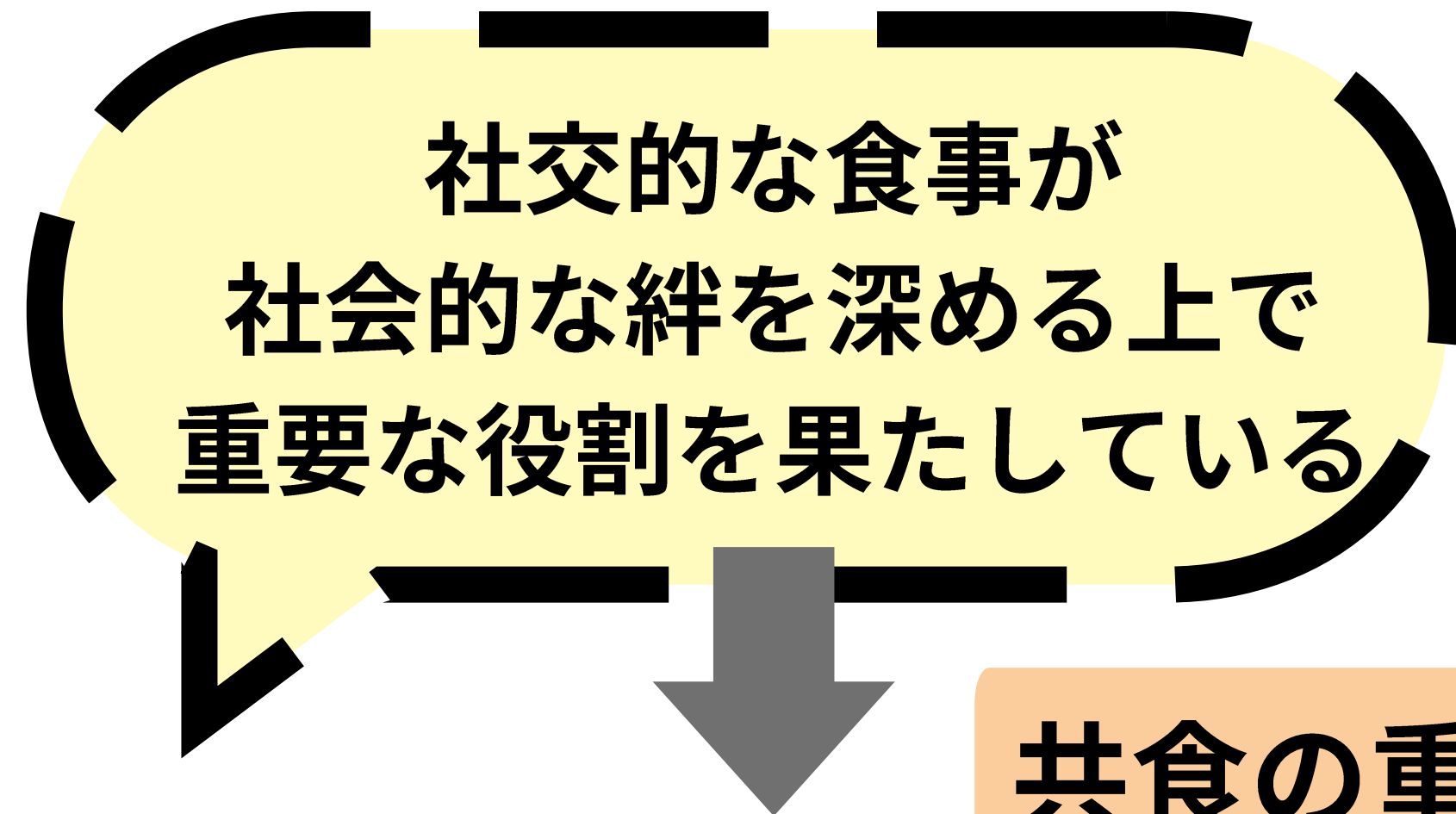
**気軽に参加でき  
継続が可能な仕組み  
が必要！**

# 「共食」

同じ時間・場所を共有し、  
リラックスして食事と対話を楽しむこと



 オックスフォード大学  
実験心理学部  
Robin Dunbar



共食の重要性

心理的ハードルの**低下**  
**年齢**や**立場**を超えたフラットな対話を生み出す



# Detroit Soup

📍 2010年2月～  
アメリカ・ミシガン州デトロイト

## 【概要】

食事を囲んで課題・アイデア共有  
→投票し、選ばれたプロジェクトを支援

## 【運営】

NPO法人Build Institute

## 【目的】

地域の新しい起業家を発掘・サポート



問題意識

現状分析

政策提言

効果と課題

## 仕組み

01



プレゼンター  
がアイディア  
共有

02



投票者  
同士で対話

03



良いと思う  
アイディア  
に投票

04



最多  
得票者に  
賞金授与

**共食**によって参加・議論のハードル低下  
→多様な市民の参加を促進

問題意識

現状分析

政策提言

効果と課題



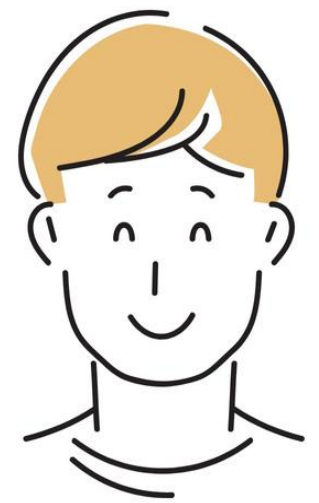
# ヒアリング調査

📍 SAIJO SOUP 実行委員会  
🕒 2025/11/24



食べ物があることで  
自然に会話が生まれる  
→議論のハードル下がる

食べ物があるから  
参加したいとの声  
→参加のハードル下がる



現会長 山下氏

## SOUP形式の有効性

### 共食を通じた交流

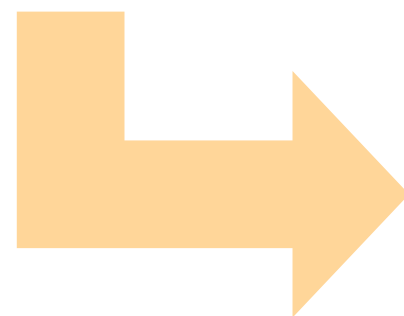


提案内容への評価に影響

### 投票



その場で交わった  
知識や価値観が集約



# 集合知を生み出す



### 現状分析から

#### 課題



市民交流の不足




自由なテーマ設定  
ができない



気軽に参加できない

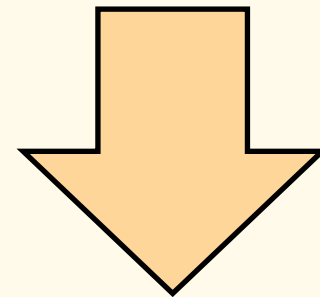
#### 先行事例の有効性

 100人委員会のNPOと連携した雰囲気づくりの工夫

 Detroit Soupの共食による心理的ハードルの低下

**京都市には...**

**市民が自由に意見交換できる場の設置**



**そこから生まれる集合知を  
活かす市政参加制度が必要！**

# 03 | 政策提言

現状の課題解決



先行事例の利点

京都アイディアバーカリー制度

を提案します！



問題意識

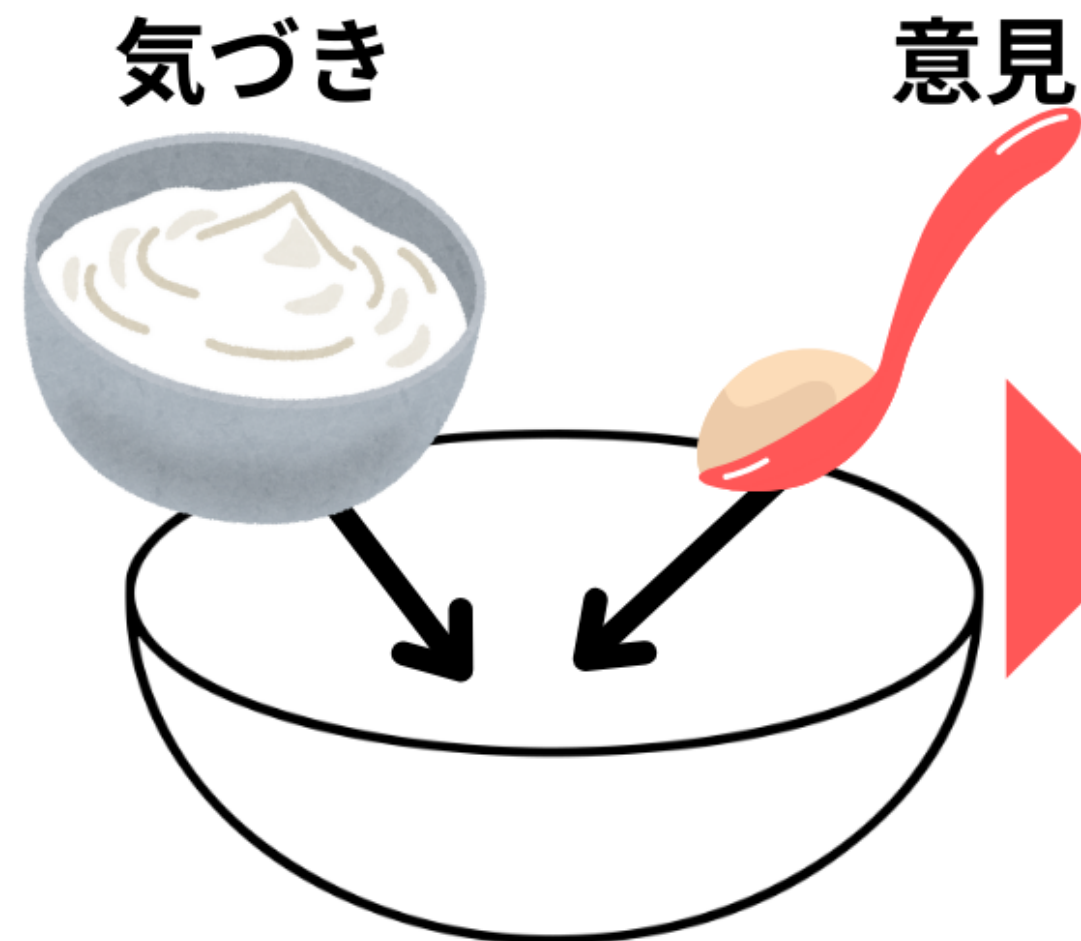
現状分析

政策提言

効果と期待



# 京都アイディアアベーカーリー制度



問題意識

現状分析

政策提言

まとめ



# 京都アイディアアベーカーリー 概要

2025/11/8  
梅小路公園



[場所] 人が集まる場所

[開催頻度] 月1回・定期開催

[参加費] 300円（パン代）

[募集方法] 京都市HP  
(SNSも活用)

問題意識

現状分析

政策提言

効果と評価

## パンを使う理由



### 京都市はパンの街

- 2021~2023年の平均年間消費支出金額  
**全国1位 (39,257円)**
- 2021年人口10万人当たりのパン屋数 **全国5位**  
(総務省統計局家計調査より作成)



市民に深く根付いた食文化



## スープではなく、パンを使う理由

### スープの場合



- ・調理に火が必要  
→冷めると満足度下がる
- ・余ると廃棄のリスクも

### パンの場合



- ・特別な調理不要
- ・片手で食べられる
- ・余っても持ち帰れる
- ・多くの種類を提供可能



## 当日の流れ

①



グループ  
を作る

②



「日常の気づきや課題」  
というテーマで  
パンを食べながら議論

③



発表 &  
投票

問題意識

現状分析

政策提言

まとめ

## イベント後の流れ

4



議論全てを  
音声テキストマイニング分析  
→定性データを客観的に把握

5



行政に  
提出

6



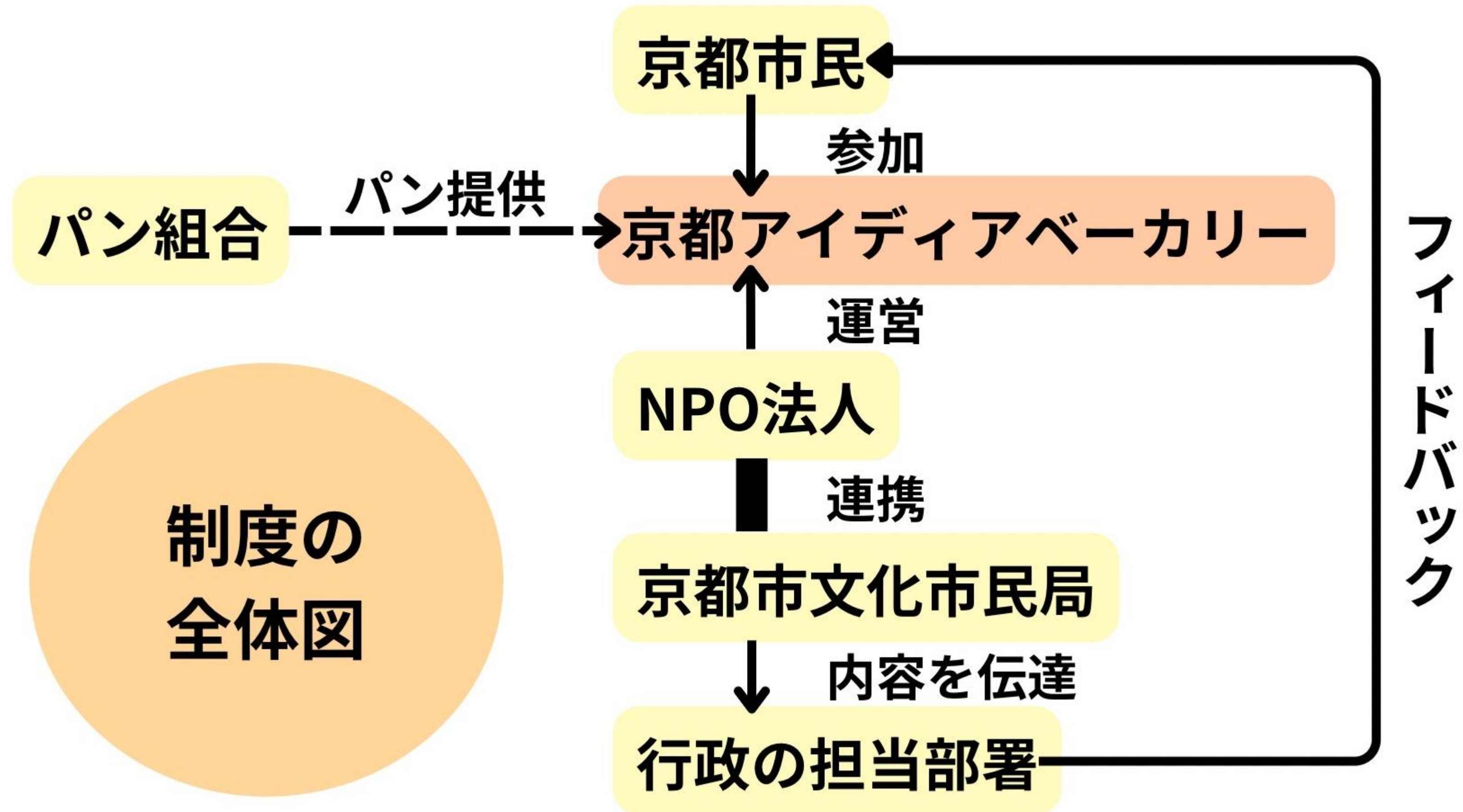
フィード  
バック

問題意識

現状分析

政策提言

詳細へ掘削



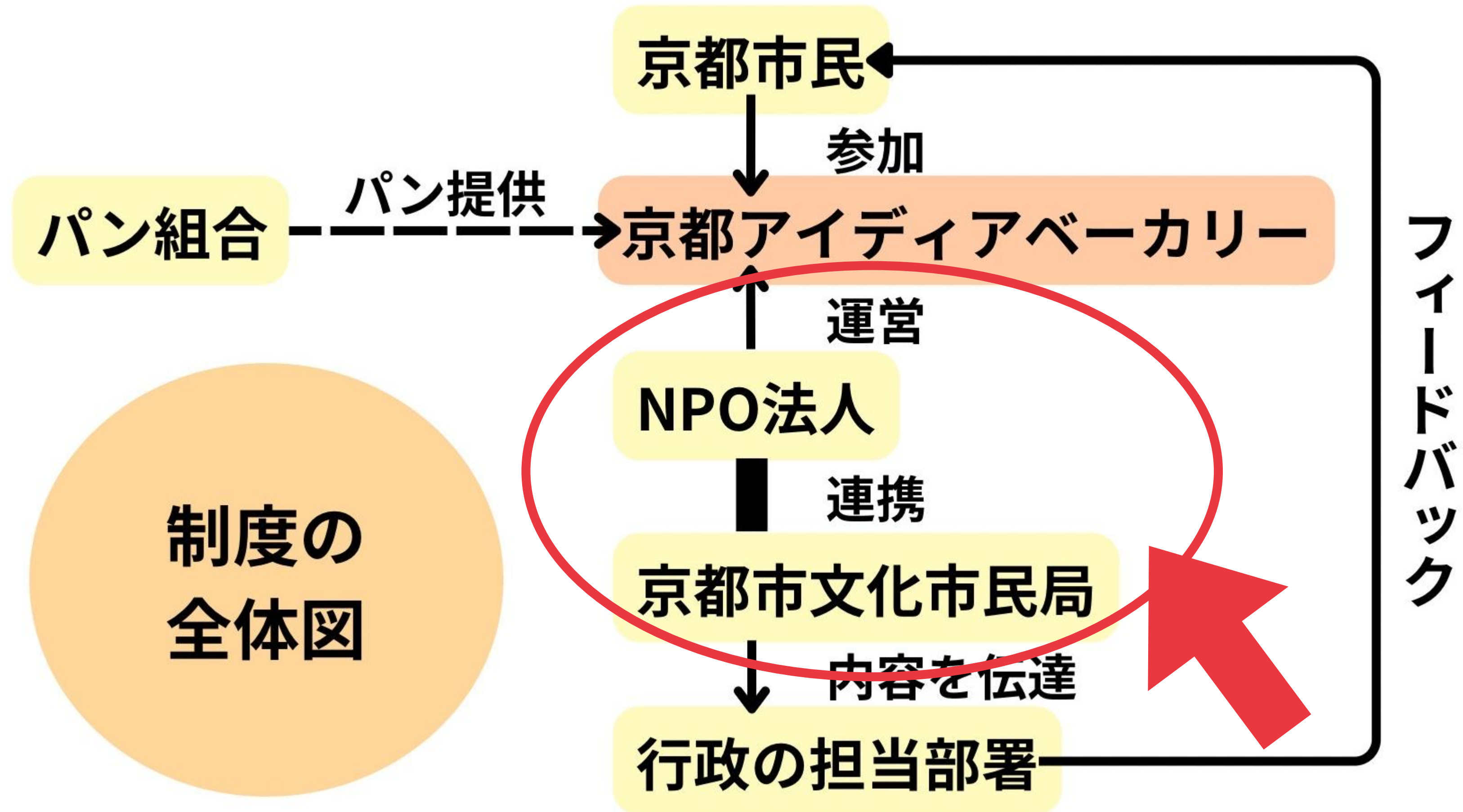
問題意識

現状分析

政策提言

詳細へ掘削





問題意識

現状分析

政策提言

まとめ



## 運営主体について

京都市文化市民局

協働

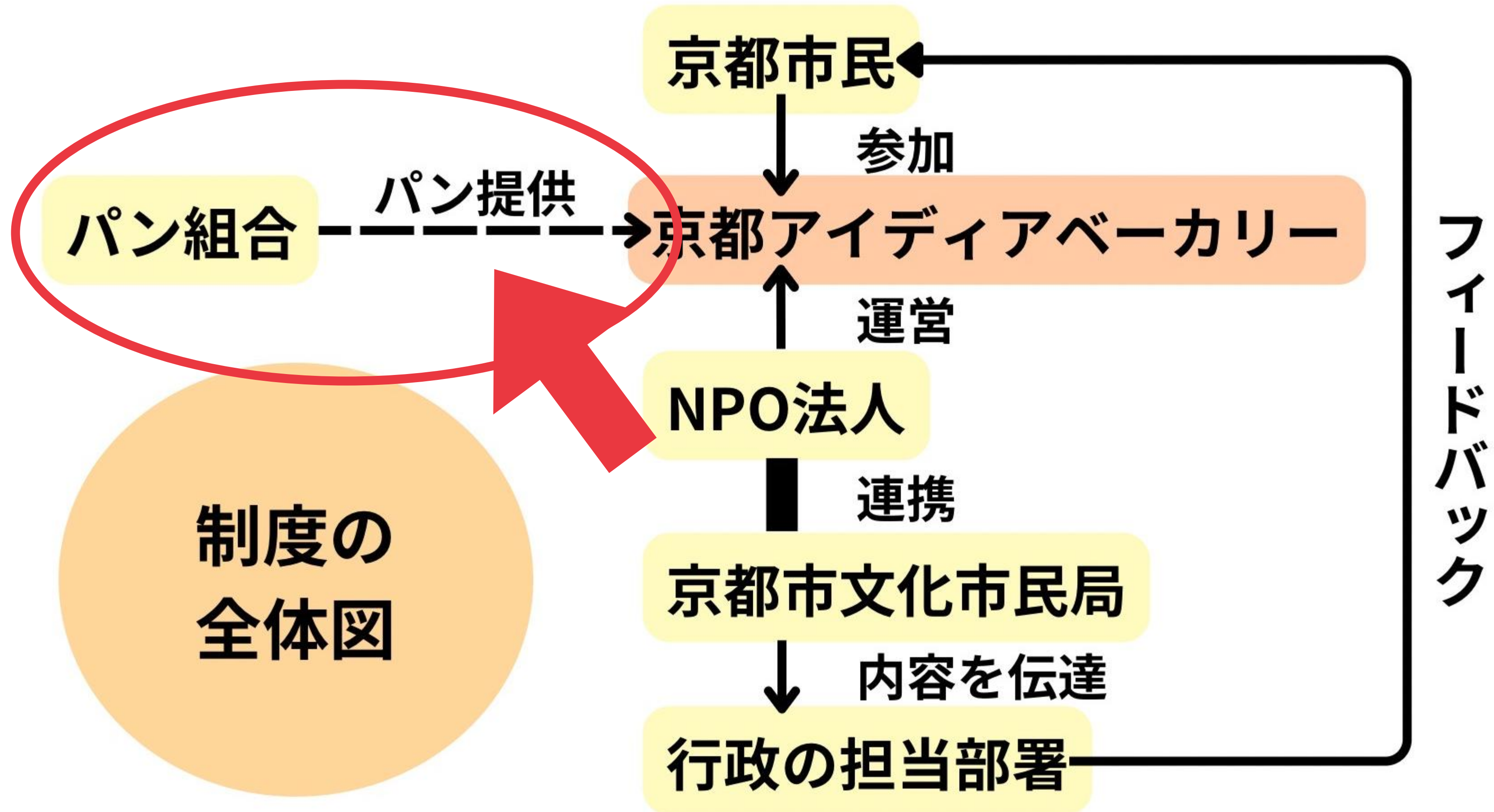
NPO法人



制度の実効性 &  
継続性が高まる

NPO法人の候補：NPO法人場とつながりラボhome's vi、  
京都NPOセンター

→「100人委員会」などで対話の場づくりを担った実績あり



問題意識

現状分析

政策提言

詳細へ掘削

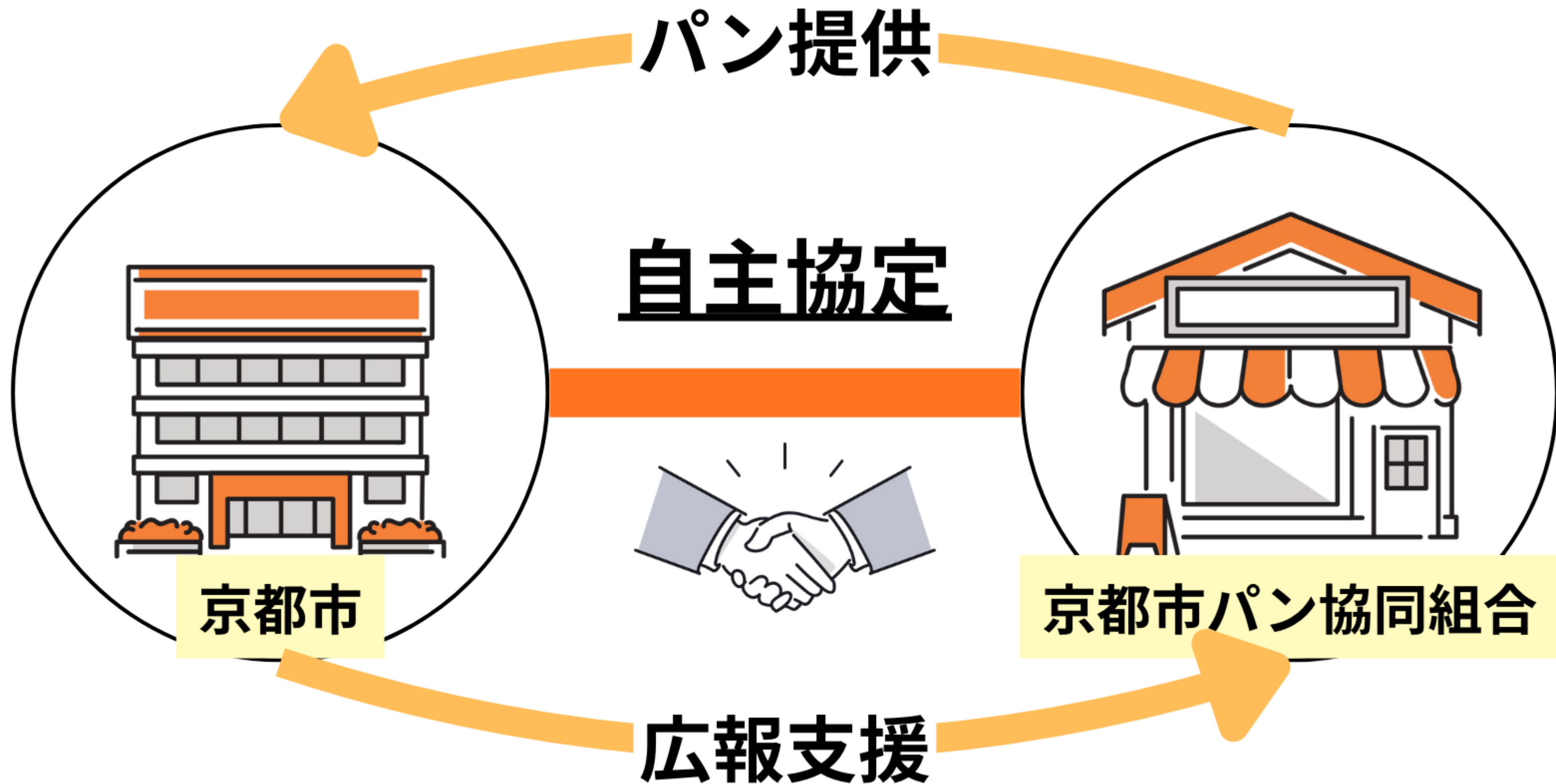
## パンの調達について

# 京都市が京都府パン協同組合との 自主協定を締結

### 【自主協定】

行政と企業などが地域の課題解決に向けて  
協力することを取り決めた、任意の協定のこと

## パンの調達について



問題意識

現状分析

政策提言

まとめ



## 実証実験

### 【目的】

対話を通じた集合知形成の検証

#### ①共食しながら対話を実施 (10/17・11/16)



(@鴨川デルタ 10/17開催)



(@京都御所 11/16開催)

#### ②語句の関連性や 議論の過程を分析

KH Coder



問題意識

現状分析

政策提言

効果と評価

## 議題：京都の防災

地震経験や  
知識の共有

避難所が分からない

投函チラシで初めて知った！

議論開始

京都は下宿学生、  
観光客多い

大学で聞いた防災の話  
役に立った！

結論：行政が市民や観光客が受動的に防災情報を知る  
機会を増やすべき

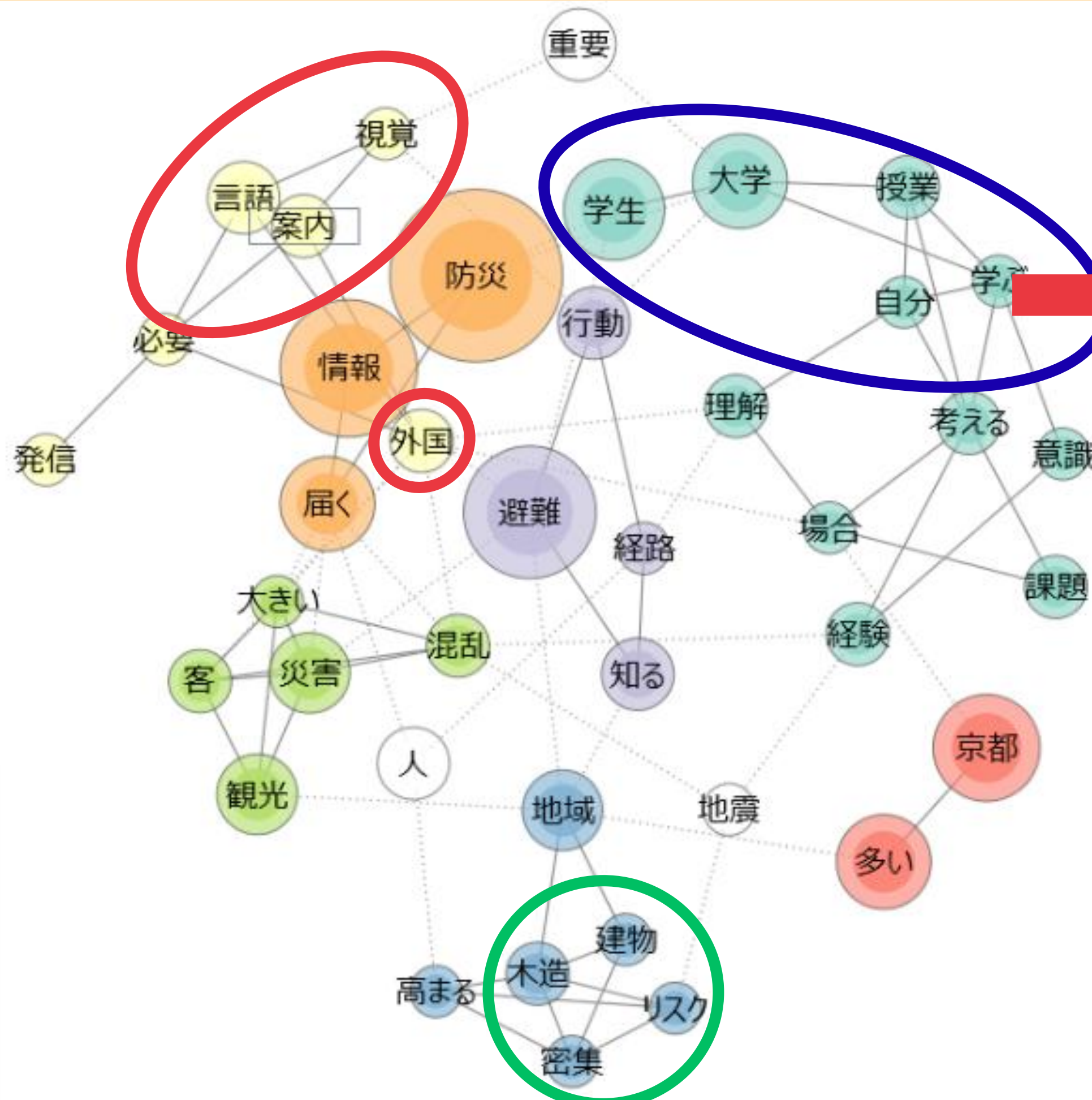
問題意識

現状分析

政策提言

効果と期待





**結論:**  
行政が市民や観光客が  
受動的に防災情報を知る  
機会を増やすべき

テキストマイニング  
により集合知形成を  
客観的に示せる

## 実証実験から確認できたこと

市民の対話から  
集合知が形成できる

- ・ テキストマイニングの利用

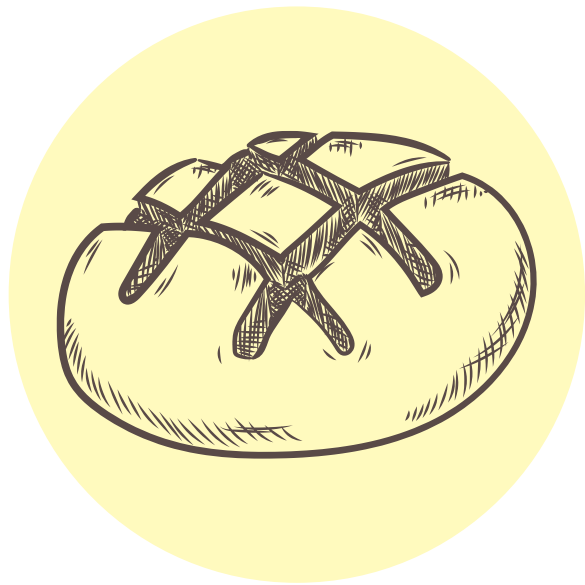
→集合知形成の流れを  
客観的に示すことができる



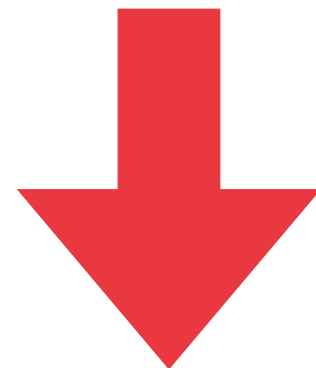
# 04 | 効果と展望

## 政策の効果

### ① 市政参加が促進され、 多様なアイディア創出を実現



参加・対話の心理的ハードルを下げることで  
多様な市民の市政参加を促進  
→多様な視点が交わる対話を可能に



ひとりでは生まれない集合知形成に繋がる

## 政策の効果

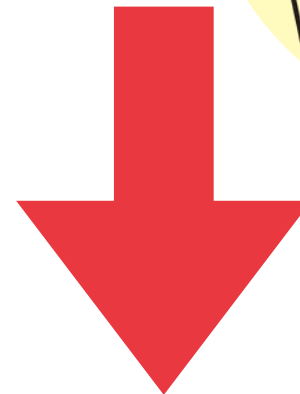
### ②議論の流れが政策づくりの参考材料になる



テキストマイニング  
分析



行政から市民へ  
フィードバック



生活者ならではの視点・考えが検討段階に加わる  
集合知が政策の質を上げる重要な材料に

問題意識

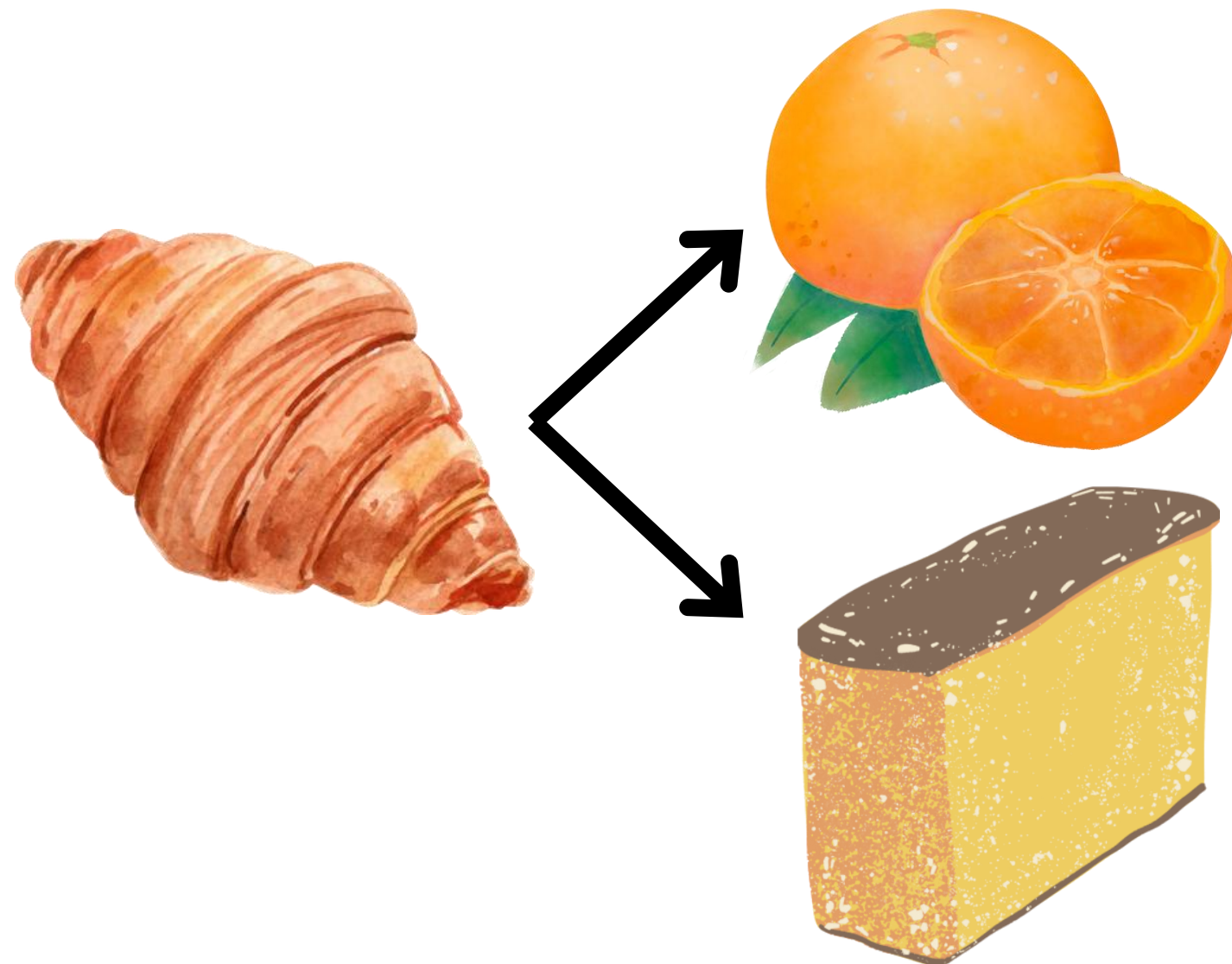
現状分析

政策提言

効果と展望

## 今後の展望

パンを各地域の特色ある食文化に置き換える  
→全国展開を可能に



「集合知形成の  
京都モデル」  
として拡大





- ・ ジェームズ・スロウィツキー 『「みんなの意見」は案外正しい』 角川文庫 2006年
  - ・ 令和元年度京都市第2回市政総合アンケート報告書  
<https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/cmsfiles/contents/0000264/264600/0202.pdf>
  - ・ 市民参加・市民協働一京都市 <https://www.city.kyoto.lg.jp/index.html>
    - ・ 京都市未来まちづくり100人委員会  
[https://www.jstage.jst.go.jp/article/jappm/36/3/36\\_66/\\_pdf](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jappm/36/3/36_66/_pdf)
    - ・ Detroit Soup-Build Institute  
<https://www.buildinstitute.org/fund/detroit-soup/>
    - ・ 西条スープ公式サイト <https://sites.google.com/view/saijosoup/>
  - ・ “Breaking Bread: The Functions of Social Eating” R. I. M. Dunbar. (2017). P,198
    - ・ KH Corder <https://khcoder.net/>
      - ・ 総務省統計局家計調査  
<https://www.pref.kyoto.jp/tokei/monthly/tokeikyoto/tk2022/tkroom202203.pdf>
        - ・ 自主協定検討会報告書の概要  
<https://www.env.go.jp/press/files/jp/2339.html>  
(すべて2025年12月08日閲覧)